

## 平成 28 年度第 1 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 28 年 5 月 23 日（月） 午後 1 時 30 分から

2. 場 所 熊野市民会館 南大会議室

3. 出席者 熊野市長 河上敢二  
熊野市教育委員会  
倉本教育長 大久保委員、小山委員、糸川委員、

4. 事務局関係

教育委員会事務局

林総務課長、楠学校教育課長、杉本社会教育課長

太田総務課長補佐、小瀬総務課庶務係長

市長公室

大西市長公室長

総務課

清嶺地総務課長

5. 事 項

(1) について

林総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 28 年度第 1 回熊野市総合教育会議を開催いたします。お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。

本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局総務課長の林でございます。よろしく願いいたします。

まず、最初に総合教育会議開会に当たりまして、河上市長から開会のご挨拶をお願いいたします。

河上市長 一言ご挨拶を申し上げます。28 年度に入りまして第 1 回目の総合教育会議ですけれども、教育委員さんにつきましては、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。日頃より本市における教育行政の推進に対しまして、格別なご尽力をいただいておりますことに、心から深く感謝を申し上げたいと存じます。

昨年度は、委員の皆様にご協議をいただき、本市の教育の一層の充実と教育行政の方向性を示すための大きな指針となります。熊野市教育大綱の策定をさせていただいたところでございます。この大綱につきましては、学校教育や青少年健全育成など、大きな分類と

して6項目ございます。それぞれの6項目の中に施策の内容として、全部で24項目の事柄が示されているところでございます。今年度は、この24項目のうち、学力の向上の推進をはじめ、特に重点を置いて取り組みたいと考えている施策を5点示させていただきたいと思っております。ただし、それ以外の19の施策につきましても、しっかりと取組んで行かなければならないと考えているところでございます。

今年度の予算といたしましても、昨年度の第3回目の総合教育会議で、検討中ということでお話しをさせていただいたところでございますが、地方創生の取組の一環として、給食費を概ね1食100円にする給食費の補助制度や、通学に対する支援として保護者負担金の補助など、子育てにおける保護者の経済的負担を軽減するための施策を実施しているところでございます。また、学力向上やいじめ問題に対しましても、地域コーディネーターを配置しておりまして、地域未来塾などの学習支援や、県や専門家との連携によるいじめ問題への対応もしっかりと進めてまいりたいと考えております。こういった状況をふまえ、今年度の取組でございますが、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、更なる取組の充実強化に結びつけて参りたいと考えております。

委員の皆様方には、お忙しいところではございますが、なお一層のご理解、ご尽力、ご協力を賜りますように、心からお願いを申し上げます。

本日はどうもありがとうございます。

ありがとうございました。

それでは、お手元に配布の資料の確認をさせていただきたいと思っております。

本日の事項書1枚、平成28年度第1回熊野市総合教育会議が1部、資料が1部となっております。

本日、高見委員が欠席ということでご報告させていただきます。

事項書2(1)の平成28年度重点施策に入らせていただきます。

熊野市教育大綱は、平成27年5月28日に開催しました、第2回熊野市総合教育会議において決定しました。教育大綱の内容としましては、平成28年度第1回熊野市総合教育会議の1ページにあります図式で示したものであります。大きく6つの施策となっており、さらに6つの施策に合計24項目の施策が示されております。

1. 学校教育（幼稚園教育）で施策の内容としましては、教育内容の充実ほか2項目。2. 学校教育（義務教育）では、学力向上の推進のほか7項目。3. 青少年健全育成では、子どもの見守りと問題行動へ

林総務課長

の対応ほか2項目。4.生涯学習では、多様な生涯学習機会の提供ほか2項目。5.生涯スポーツでは、生涯スポーツの普及と促進ほか2項目。最後に、6.文化芸術で、文化や芸術に触れる機会の提供ほか3項目からなっております。

平成28年度は今、説明をさせていただきました24項目の内、次の2ページにあります、主な重点施策として、学校教育、義務教育から1学力向上の推進、2豊かな心の育成、3安全で安心な学校環境づくり。生涯学習からは、4生涯学習環境の整備。生涯スポーツからは、5生涯スポーツの普及と促進、の5点をあげさせていただきます。

それでは、重点施策のほうに入らせていただきます。

それぞれの取組みの方向性や事業名、事業内容等の説明をさせていただきます、その後、今後のめざす姿や指標について説明をさせていただきます。1つの重点施策ごとにご質問やご意見等をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

3ページについて

重点施策1学力の向上の推進について説明。

重点施策1学力の向上の推進について、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

糸川委員

地域未来塾事業に関してなんですけど、夏休みに大学生や教員OB等が講師として学習支援を行いますということなんですけども、その協力してくださる人材というのは、何人か決まっているんでしょうか。

林総務課長

学校教育課長からご説明させていただきます。

楠学校教育課長

地域未来塾事業は新規事業で、夏季休業中に地元出身の大学生や先生のOBから6名を予定しております。教育実習に来られた方にも依頼をする予定です。火曜日から金曜日の週4回で4週実施しますので、合わせて16回実施予定です。

糸川委員

教育実習に来られた学生さんが、そういう事業に携わるということは、その学生さんも将来プラスになって、とてもいいことだと思います。

河上市長

実際に、教育実習に来られる学生さんはどのくらいいらっしゃるんですか。

楠学校教育課長

各小中学校に、だいたい4名から6名の学生が来られると聞いています。その年によって違いますが、教育実習後、夏に帰省する学生さんに依頼をする予定です。

倉本教育長

具体的には、大学にお願いをしに行くということが、まず1つあります。もう1つは、教育実習の申し込みについては前年度に教育委

員会に申請が来ますので、その際に、お願いをするということであり  
ます。具体的な人選については、まだ確定していません。

林総務課長  
大久保委員

他に何か意見はございますか。

学力向上支援事業についてですが、指定した学校において、学力  
調査の分析結果に基づき云々とありますが、これはもう分析は終わ  
っているんですか。今年 4 月に行われた調査の分析結果ということ  
ですか。

楠学校教育課長  
大久保委員

そうです。

調査を分析するのは、各学校で行われるのですか。それとも教育  
委員会と合同で行われるのですか。

楠学校教育課長  
大久保委員

各学校で行っています。

分析がきちっと行われることが、これからの改善策を決める大事  
なことだと思いますので、教育委員会の先生方も含めて、きちんと  
した分析をお願いしたいと思います。

楠学校教育課長  
糸川委員

承知しました。

昨年から、このような学力向上とかいろいろ施策に基づいて、学  
校の方でもやっていたらと思うんですが、それに関して、  
今までやってきた取組みの中で、家庭学習の定着や授業の改善等  
について、どのように進んでいるんでしょうか。

楠学校教育課長

学力向上支援事業を中心に、各学校が全国学力・学習状況調査の  
分析結果をしっかりと行って、自分の学校のどのような弱みや強み  
があるのかを分析して、各学校が、本年度の校内研修(授業改善)の  
テーマを決めて、授業研究を行っているところです。従来の講義型  
授業は、だんだん少なくなってきました。グループ学習も取り入れ  
て、子どもたちが一緒になって学び合うという授業の形態が多くな  
ってきたと思っております。

河上市長

私から質問するのもおかしいんですが、グローバル体験事業は、  
予算措置を伴わないでやられると思うんですが、ALT の活用とい  
うことは、今やっている ALT が授業を持ってもらっている以外に  
プラスアルファでやられるということですか。

楠学校教育課長  
河上市長

10 万円の予算立てをしております。

その 10 万円を使用して、ALT にプラスアルファのことをやっ  
てもらうということですね。

楠学校教育課長

はい。昨年度の実績では、グローバルスポーツイベントとい  
うことで、33 名の参加がございました。あとは、英会話教室が  
昨年度は 10 回ということで、小学生が 69 人、中学生が 17 人の  
計 86 人が参加をしております。それから、冬休みを利用して、  
ウィンターフェスティバルということで、午前と午後に分けて、  
小学生が 119 人。ま

た、映画会ということで、19人が参加をしております。

河上市長

子どもに変化は見られますか。

楠学校教育課長

ALTとの交流も深めて、英語に興味や関心も持ってもらったと思います。

小山委員

学力調査の分析結果は、いつ頃出るんでしょうか。

楠学校教育課長

文部科学省から、8月の下旬に出ます。その前に学校の方も児童生徒の結果を基に分析ができるようになってます。私も全国学力調査の採点をしたことがあるんですが、全国学力調査というのは、ただ〇×で採点をするのではなくて、一つ一つの問題が、どういうふうに関連していたのか、といういろいろな項目がありまして、そこにチェックをすることになっています。このような調査の中で、間違いがあるとか傾向がわかるようになっています。

小山委員

できれば早く結果を出していただいて、早急に対処していただきたいです。

楠学校教育課長

はい。

林総務課長

その他にご意見等ありませんか。

楠学校教育課長

それでは、先に進めさせていただき、最後に全体を通しまして、ご質問等受けますので、よろしくお願いします。

4ページについて

重点施策2 豊かな心の育成について説明。

重点施策2 豊かな心の育成について、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願いいたします。

倉本教育長

いじめにつきましてはですね、未然防止が第一でございます。まずそこに、最大の力を注ぐということです。各学校の取組みや各学級の子どもたちの状況を把握するために、QU調査を実施します。QU調査も実施するだけでは、意味がありませんので、それを分析したものを読み取る力、そして、学級の状況を改善していく力が教師には求められますので、まずそこに力を入れていく。その中で、重大事案が起こってしまった場合には、緊急に対応する必要があるでございます。場合によっては、命にかかわることでございます。そういった場合にですね、学校・教育委員会だけではなく、弁護士や精神科医、臨床心理士など専門家を入れて、迅速に対応するために付属機関を設ける。そのためには、条例を制定して進めていくという形で考えております。

林総務課長

何か質問等ございませんか。

河上市長

資料の5ページの調査、再調査をそれぞれ審議会や委員会を設けて行っているようですが、今教育長が言われたことで、もう少し細かいことを聞きたいのは、教育委員会として対応が難しいと判断で

きる状況について、法律の解釈など具体的に明記されたものはあるのですか。

楠学校教育課長 重大事態という定義で、子どもの心身又は財産に被害が生じた疑いがあると認める時や長期化の欠席を余儀なくされる場合、つまり不登校状態で約30日以上と熊野市いじめ防止基本方針で明記しています。

河上市長 今のは、重大事態についての法律の考え方だと思うんですが、私が言ったのは、熊野市教育委員会が調査依頼をして、なおかつ対応が難しい場合は市長部局において、再調査をすると。その再調査を行う場合の考え方、調査だけでは不十分であるとなった場合の考え方はあるんですか。それは、教育長判断なんですか。

倉本教育長 具体的には保護者も入っておりますので、保護者と教育委員会での話し合いの中で、まだ疑いがあったり、クリアにならない場合があります。そういった場合は、クリアになるまで調査を行っていくということになると思います。

河上市長 そういった場合に、教育委員会で1回目の調査を行っているので、2回目調査は違うところでやらなければならない。ということは、市長部局で行うということですね。

倉本教育長 教育委員会も密接に関係しているので、市長部局だけではありませんが、できるだけ客観性を担保する必要がありますので。

河上市長 もう一つ。熊野市いじめ問題連絡協議会を設置していますが、協議会では、そのような考え方は示されているんですか。

楠学校教育課長 具体的な考え方は今後つめていきます。

林総務課長 その他に、施策2の豊かな心の育成について何かございませんか。

大久保委員 すべての子どもが神様になるというのは、難しいことだと思います。日頃、生活していく中で、小さな問題はいろいろとあるんじゃないかと思うんです。それを一番キャッチできるのは、学校の先生方だと思います。やはり、先生方と子どもとの信頼関係が大事だと思いますので、先生方も、できるだけゆとりを持って子どもと接することができるように、教育委員会もフォローしていただきたいです。

楠学校教育課長 はい。わかりました。

林総務課長 ありがとうございます。その他に、何かございませんか。

河上市長 今の話に関連する話なんですけど、これだけ全国的にいじめ問題が広がっていて、学校の先生とか、もしくは家庭でいじめの兆候はいろんな形で出てくると思います。そのような事例があったときに、ひょっとしたら、いじめかも知れないというような事例集はないんですか。

- 楠学校教育課長 県の生徒指導課とかいじめのパンフレットなどに、いじめの兆候の事例を掲載しています。食欲がないなどの症状があれば、学校に相談してください、という啓発をしています。
- 河上市長 新聞報道で出てくる事例などで考えると、親から言われて気が付くということが多いので、そういう部分の兆候の段階で見つけられるように、そのような研修があってもいいのではないのでしょうか。
- 倉本教育長 いじめを受けただけでなく、いじめを見たことがあるか、聞いたことがあるかまで聞いています。そのような事例が出てきた場合は、各学校で聞き取りを行っています。
- 糸川委員 先生方は、生徒がいじめにあっているのではないかとということ、大きな事案が出た時に、知らなかったと言いますが、それは本当かなと思います。先生方の意識も生徒一人一人を自分の子どもだと思って接していただき正義感を持って、それを常々忘れないようにしていただきたいと思えます。
- いじめをする生徒は、普通の生徒だと思うんです。その生徒たちを周りの大人が見守って、いじめを受ける弱い生徒が苦しまないような学校にしていきたいです。
- 河上市長 スマートフォンによるいじめは熊野市にはあるのでしょうか。
- 楠学校教育課長 はい、全国的にも県下においてもあります。
- 小山委員 いじめに対して打ち勝って行くような教育方針とか対策とかないのでしょうか。
- 河上市長 その前に私は、こういう事が起きたら必ず先生に言うなどマニュアル的なものが必要だと思います。それと同時に、小山先生が言われたように、強い気持ちも持たせるという取組みも大事だと思います。
- 倉本教育長 今は、場合によっては逃げなさい。周りの大人にそのことを伝えなさい。というように一番安全な方法を取るしかないかなど。強い心を持って向かっていくことは、大切だと思いますが、なかなかそういうことができる子どもはあまりおりません。自己申告をした場合は、守り通すというところが視点でございます。
- 林総務課長 その他ございませんか。
- 全員 無し。
- 林総務課長 それでは、次に進めさせていただき、最後にご質問等を受けますので、よろしくお願いします。
- 5 ページについて
- 重点施策 3 安全で安心な学校環境づくりについて説明。
- 重点施策 3 安全で安心な学校環境づくりについて、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願いいたします。

糸川委員 今、学校で行われている避難訓練はどのような取組みなんですか。私たちが子どもの頃は、イベント的なものでした。最近、東日本大震災や熊本地震があり、自分の身近なものになってます。なので、子どもたちにそのような意識づけはしているのでしょうか。

学校教育楠課長 我々が住んでいるこの熊野地域でも東南海地震が予想されています。子どもたちにもそのリアル感がありまして、避難訓練を真剣に行っております。

今までは、この時間に避難訓練をするといった連絡をしていました。現在、抜き打ちで避難訓練を行う学校が多くなっています。

河上市長 避難訓練は、年にどのくらいの頻度で行っているんですか。

楠学校教育課長 消火訓練も含めて、年に2回は行っています。

倉本教育長 熊野市は、海岸部と山間部があります。山間部においても津波に対しての指導を各学校で力を入れています。

避難訓練の実施ですが、年に2回程度と言いましたが、年3回程度やっています。

私が小学校長で勤務していた時は、学校の前に信号がありましたので、信号を止めていただいて避難訓練を行いました。

とりあえずは、転んでもひざなどをすりむいても止まらないで走る、ということを徹底していました。子どもたちもそういう意識は持ちつつあります。学校にいる時はいいんですが、登校中、下校中、遊んでいる時など、その場所からどうすればよいのかという力を、これからもっとつけていかななくてはならないと考えています。

河上市長 子どもたちに潜在意識を持たせるように、是非そのような考えを実施していただきたいです。

林総務課長 それでは、次に進めさせていただきます。

6 ページについて

重点施策4 生涯学習環境の整備について説明。

重点施策4 安全で安心な学校環境づくりについて、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

大久保委員 本年度、図書館の館長さんを置いていただいてありがたいと思っております。より多くの方々に利用していただき、充実した図書館にしていただきたいと思っております。

図書館では、読書活動や読み聞かせについて、1歳児、2歳児を対象に行っています。できるだけ多くの子どもたちに本の良さをわかってもらい、本を好きになってもらうために保育所や小学校などへ出向いて読み聞かせをするという事業もしていただきたいです。

杉本社会教育課長 確かに、本に若いうちから触れるということは、とても大切なことだと認識しています。現在、図書館の運営につきましては、新た



に4月から館長が就任し、事業についていろいろと考えていただいているところです。大久保委員がおっしゃられたように、小さな子どもたちに対する年齢別の読み聞かせをする講座もあります。

まずは、図書館の運営についての整備や司書やボランティアの関係もありますので、その点を考えながら今後の課題ということで取組みさせていただきたいと思います。

河上市長

生涯学習事業とか講座を受けられる方は、ひょっとしたら特定の人が何度も受けている状況にあるのではないかなと思うんですが。今の久保委員の話にもありましたが、できるだけ多くの人という状況を作り出す創意工夫が、絶対必要です。市役所の違う分野の事業でも全く同じだと思います。例えば、健康づくりに参加する人がほとんど同じ人。毎年、その事業に同じ人が来ている状況だと。関心を持つか持たないかという部分があるので、そういった意味で、非常に難しいと思います。

本の貸し出しや講座についても、できる限り多くの人に、ということを取組みの中でよく考えて進めて行っていただきたいと思います。

糸川委員

私も久保委員と同じように、本を読む力が必要だと思います。先ほどの防災と一緒に、小さい時から意識づけをさせるとか、学校に出向いて本の読み聞かせをする、ということは良いことだと思います。

小さいときに学んだ読書力というのは、中学校や高校に行って、どの教科に対しても当てはまる力だと思います。そして、これが学力向上にも結び付くことだと思いますので、是非、取組んでいただきたいと思います。

林総務課長  
全員

他にご意見、ご質問ございませんか。

無し。

林総務課長

それでは、次に進めさせていただきます。

5 ページについて

重点施策5 生涯スポーツの普及と促進について説明。

重点施策5 生涯スポーツの普及と促進について、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

河上市長

めざす姿と指標がマッチしていないので、指標は今後さらに全体像を把握できるように。これは、大変申し訳ないですが、把握している数値を出しているだけで、実際のめざす姿を示す指標にはなっていないです。関連しない部分が入ってます。

これも、あまりスポーツに関心のない人にスポーツの楽しさをどうやって知らせるかということに、一工夫二工夫いると思います。

それが、施策として生きるかどうかを指標で示されたいです。

公室長、毎年まちづくりのアンケートしてますよね。

大西市長公室長

はい。

河上市長

1項目入れられますか。

大西市長公室長

はい、大丈夫です。

河上市長

そういう連携でやってもらったら。

大西市長公室長

はい。

倉本教育長

今、小学校、中学校では運動をやる子とやらない子と二極化が非常に進んでおります。やる子は、自主的に運動し、スポーツ少年団に入っている子は毎日のように運動するし、やらない子はほとんど運動しないという状況です。その子どもたちが、そのまま大人になっていった場合、今まで以上に運動に親しまない。例えば 20 代 30 代になって初めてスポーツに親しむということは、非常に難しい話です。これは、生涯スポーツと言いながら、学校教育も関係しますし、幼稚園、保育所も関係することですので、その辺の視点も踏まえて、普及であるとか動機づけであるとか色んな部分で視点を当てて取組んで行かなければ改善は見られないと思っております。

林総務課長

その他にご意見、ご質問等ございませんか。

糸川委員

今後予定される大会等で、ソフトボール女子がありますが、熊野市にはソフトボールの少年団もクラブもないので、ぜひとも女子ソフトボール部ができたらいんではないかなと思います。将来的に木本高校に女子ソフトボール部ができて、それが強豪校となれば、他府県からもいろんな生徒さんが来てくれて、熊野市の活性化にも繋がると思います。是非、女子ソフトボール部を何とかならないかなと。

河上市長

そのことに関してはですね、五郷で男子のソフトボールチームがあって、女子のソフトボールチームを作りたいということで、熊野市のソフトボール協会や体協でも考えていただいたこともありました。実際にはなかなか人が集まって来ないようです。

引き続き、ソフトボール協会にはお願いはしていきたいと思えます。

倉本教育長

ソフトボールという種目は、学校では扱いにくいんです。以前は学習指導要領の中にありまして、扱っていただいた時期もありました。ポジションによって、運動量に雲泥の差があるので、扱いにくいと。以前は、南郡、熊野の学校に女子ソフトボール部があって、中体連の大会でも種目としてありました。それが、学校でも扱わなくなった。そして、児童生徒数が減りつつある。また、ソフトボール自体が今、脚光を浴びているかというところでもない状況であり

ます。

糸川委員

今脚光を浴びていないからこそ、チャンスという考え方もあると思います。人数を集めないといけないスポーツだからこそ、集まっていないからできないところがたくさんあると思うんです。その人たちを呼び込む最大のスポーツではないかと。

河上市長

私も全く同じ思いで、実はだいぶ前からどうにかならないのかとしつこく言っているんです。それを受けてソフトボール協会にも募集をしていただいているんですが、なかなか来ていただけない状況です。

糸川委員

私の子どもが今、高校 2 年生なんですが、有馬中学校に入ったときに、ソフトボール部を作りたいという意見があったらしいです。先生から人数が集まったらいいよ、という話だったらしいですが、人数が集まらなかったらしいです。その話はそれっきりだったみたいですね。

大久保委員

ソフトボールに限らず、野球とか含めて団体競技の意義が難しくなって来ているという現状なので、そこが辛いところですね。

河上市長

ソフトボールもそうなんですけど、ラグビーでもそうですし、野球もそろそろそうなりつつありますね。学校を超えてチームをつくらないといけなくなるのでは。ソフトボールの話は、ソフトボール協会でするしかない。学校ではなかなか集まらない。引き続き大きな課題ですね。

林総務課長

ありがとうございます。

施策 1 の学力向上の推進から施策 5 の生涯スポーツの普及と促進まで、全体を通して何かご意見等がございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

なければ、また後ほどでも構ひませんので気づいた点がございましたらよろしくお願ひいたします。

それでは事項書の(2)のその他について、各委員さんから何かござひませんか。

河上市長

先ほどの生涯学習で、大久保委員さんが言われた話に関連して、青少年健全育成の中に子どもの読書活動の推進というのがありますが、これは新たに施策として入れる必要があるんじゃないでしょうか。

林総務課長

青少年健全育成の中に子どもの読書活動の推進という項目がありますので、一つの重点施策として取り入れさせていただきます。

他に何かござひませんか。

糸川委員

主な重点施策の中に入ってないんですが、文化芸術のところ、文化的資源の継承と活用で、この木曜日に伊勢志摩サミットが開催

される影響で、サミット終了後も外国人の観光客とか増えるんじゃないのかなと思っています。それで、熊野市をアピールするのに、絶好の機会だと思いますので、熊野市の財産をアピールするのに支援していくのも重要なのではないかなと思います。また、若い人たちにも知っていただく機会にもなると思いますので、是非、市をあげて取組んでいただきたいと思います。

河上市長

前段の話は、どちらかというと観光スポーツ交流課の取組みとして受け止めさせていただいて、後段の話については、文化芸術の中の(1)に入っているのか、これを重点項目としてあげるのか準重点項目とするのか。少なくとも他との並びにするよりは、力を入れる趣旨ですので、取り扱いについては、教育長にお任せします。

倉本教育長  
林総務課長  
倉本教育長

ありがとうございます。

他にございませんか。

新聞紙上でご覧になった方もおられるかと思いますが、教員OBが土曜塾を初めていただきました。学力向上、学ぶことの楽しさを子どもたちに教えていきたい、体験させたいということで、多くのOBが登録していただいております。これは、無報酬でやっていただいております。

教育委員会が後援する中で、まずは、文化交流センターと市民会館の会場が空いているほうで、土曜授業がない土曜日に行っています。

小学校6年生を対象としています。現在は拠点として井戸小学校、木本小学校で、その他の学校につきましては、申し込んでいただけたらということです。登録されている教員OBの方は、10人を超えているという状況でございます。

そういう協力も得られているという状況を知っていただきたいと思います。

大久保委員  
倉本教育長  
林総務課長  
全員  
林総務課長

全員、校長先生なんですか。

教諭の方もおられます。ただ、一般の方は今のところいないです。

その他何かございませんか。

無し。

事務局の方から1点だけご連絡がございます。次回の開催予定は、10月下旬を予定しております。内容としましては、重点施策の進捗状況及び平成29年度に向けた方向性という事項で考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、これをもちまして、平成28年度第1回の熊野市総合教育会議を閉会致します。本日はありがとうございました。